

ガーデニングの ワンポイントアドバイス

東区民講座で講師を務めた谷廣司さんに聞きました。

土づくりが一番大切

花苗に合った良い土づくりを。

大事に育てる気持ちが大切

花をかわいがり、大事に育てる気持ちがあって、初めて手入れも行き届くでしょう。それが花にも伝わるはずです。

立体的に飾ってみましょう

塀、棚、玄関先の階段に鉢などを置いてみましょう。平面的に並べるよりも奥行きが感じられます。

なお、花づくりについて分からないことがあるときは、下記の緑のセンターなどで相談を受け付けています。

【問い合わせ先】

豊平公園緑のセンター

(毎週火～日曜) ☎811 9370

百合が原緑のセンター

(毎週水、木、土、日曜) ☎772 3511



今年は6月17日にPTAや地域の方と一緒に苗を植えました。子どもたちは「きれいに咲いてほしい」という思いを込めて手入れをしています

花づくりを担当している大友祐一先生は「水やりは四年生以上の児童が自主的に行っています。花の世話を通じて責任感を持って行動する子どもたちが増えてきていますね」と話します。また、学校では近隣の土地を借りて、ジャガイモなどの野菜の栽培も行っており、子どもたちは、収穫の喜びを味わっています。学校が拠点となった花と緑のまち

づくり。子どもたちは花と緑を大切に育てながら、美しい街並みを生み出しています。

花づくりで笑顔も満開

栄東地区にお住まいの加納美智子さんは、昨年のコンクール個人部門で最優秀賞を受賞しました。自宅はいつもきれいな花でいっぱいです。

「春に花を植えてからは手入れを欠かせないので、夏には旅行にも行けません。でも、花を育てるのは楽しいので苦にはなりません。花が満開になったときの大きな充実感は何物にも替え難いものがあります」と笑顔で話す加納さん。その笑顔からは、花に対する愛情が感じられます。秋になると「来年はどんなテーマで花を飾ろうか」と思いをめぐらせます。また、冬の間は色合わせを考えたリ、飾り付けに使う物を作っ



色とりどりに咲くきれいな花に囲まれる加納さん

たりするそうです。

自宅には、花を見るために近所の人たちが訪れ、花の話題で話が弾むことも多いそうです。ここでは、花と緑が地域のコミュニケーションにも一役かっています。

花と緑を楽しむために

東区民センターでは、六月から七月にかけて区民講座「ベランダでガーデニング」が開かれました。これは、マンションなどに住んでいる人も気軽に花を楽しむようにと行われたものです。

十一人の受講者は、土づくり、花や庭の手入れ、花の飾り付けの仕方などを学びました。自分では分からないことが多かったため、専門家の話を聞きたくて受講しました。今後このような機会があるとうれしい

です。」「などと話しています。講師を務めた株式会社市川造園の谷廣司さんは、花を育てる家庭が増えて、潤いのあるまちになってほしいですね。マンションや団地などのベランダにも花や緑が増えると景色も変わってくることでしよう」と期待を込めて話してくれました。



ペットボトルを利用したアイデアガーデニング実習の様子。受講された方は、多くのことを学び、家庭での花づくりに役立てています

花と緑にあふれたまち。東区がそんなまちになることを願って、最近では町内会や商店街などが、公園や道路を花で飾る活動を盛んに行っています。

一人ひとりの花づくりへの思いが、大きな輪となって地域に広がれば、新たな風景を生み出し、さらに住みよい生き生きとしたまちづくりが進むことでしょう。